

◎昭和44年度第6回理事会議事録

(44.11.28) 出席者：尾之内、国分の各副会長、羽田専務理事、安藤、井田、小川、大久保、大地、岡田、境、末沢、鈴木(薫)、田中、星、南、毛利の各理事。記事：柳沢会長所用のため欠席、国分副会長議長となる。議事録署名理事の決定：国分副会長、羽田専務理事、安藤理事。A. 報告事項：つぎの各項につき羽田専務理事より報告があり了承された。1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会その他報告。4) スウェーデン技術使節団の来日について；スウェーデン大使館よりの依頼に基づき11月21日学会講堂においてつぎの講演会を開催し、関係方面へ通知を出し、40～50名参集した。

1. 高精度測量用器材 (Dr. Thulin)
2. スウェーデンにおける岩盤トンネル工法について (Dr. Ekefalk)

なお、岡田理事から関西でも岩盤トンネル工法の講演があった旨報告。5) 企画委員会報告：羽田専務理事から、第8回企画委員会の議事録の要旨を説明、理事会と企画委員会との連絡をよくするため、議事録を配ることとした旨報告。

B. 協議事項：国土総合開発委員会設置について；羽田専務理事からこの件は前回の理事会に提案し、決定を持ち越されたもので再度提案した。おもな内容は全国総合交通体系一首都圏における総合交通体系についてである説明があり質疑応答の結果すぐ決めることは早計と思われるので、もっと十分審議することで持越しとなった。2) 建設業委員会準備懇談会について；羽田専務理事から、土木学会の会員のうち1/3は建設業関係者である。建設業に関する問題を検討する委員会を設けたいと企画委員会で考えているが、その準備のため懇談会を開きたいと提案、これについて種々の意見があったが、懇談会を開くことはよいが構想については理事会に出して貰うことで承認。3) 文部省科学研究費補助金の審査員の推薦について；国分議長、羽田専務理事より「日本学術会議から依頼を受けたが、従来の細目は4種目で今回は5種目となった。昨年は第1段審査員12名を理事会で決め推薦した。今年は半数交代であるが、推薦候補者を理事会に諮る前に、学校関係の理事に集まって貰い案を作りたい。集るのは12月19日16.00から」と提案、了承。4) 財政特別委員会構成案について

：資料により羽田専務理事より「委員会設置は前の理事会で決めたが構成については案のようにしたいが、多少追加する必要もあると考える」と説明。これに対して、種々の意見が述べられ委員は2～3名を追加することで議長一任となり、これを承認。5) 1970 Ramon Magsaysay 賞候補者の推薦について；資料により羽田専務理事より故 Magsaysay 大統領を記念するための賞であり、12年続いている。受賞の対象は5部門で、1. 役所関係の貢献、2. 公共奉仕、3. 国際的理解、4. 社会の指導、5. 情報、文学、映画等、となっており各部門から1つで、賞金は1万ドルである。学会長あて推薦の依頼があった」と説明。候補者の推薦は会長、副会長、総務担当理事に一任することになった。6) その他。7) 委員の委嘱について

- ① 表彰委員会
 - 副委員長 尾之内由紀夫 建設省
 - 功績賞主査 長浜 正雄 国鉄
 - 技術賞主査 高橋国一郎 建設省
 - 委員 水野 高明 九州大学名誉教授
 - 友永 和夫 (株)横河橋梁製作所
 - 平井 敦 東京大学名誉教授
 - 林 泰造 中央大学
 - 幹事 丹羽 俊彦 国鉄
- ② 論文賞選考委員会
 - 委員長 国分 正胤 東京大学
 - 副委員長 林 泰造 中央大学
 - 第1部門主査 前田 幸雄 大阪大学
 - 第2部門主査 岩垣 雄一 京都大学
 - 第3部門主査 三木五三郎 東京大学
 - 第4部門主査 八十島義之助 東京大学
 - 第5部門主査 樋口 芳明 国鉄
 - 委員 岩崎 敏夫 東北大学
 - 幹事 西野 文雄 東京大学
- ③ 吉田賞選考委員会
 - 委員長 水野 高明 九州大学名誉教授
 - 副委員長 国分 正胤 東京大学
 - 委員 篠原登美雄 富士製鉄(株)
- ④ 田中賞選考委員会
 - 委員長 平井 敦 東京大学名誉教授
 - 副委員長 友永 和夫 (株)横河橋梁製作所

- ⑤ 水理委員会
 - 委員長 荒木 正夫 水資源開発公団
- ⑥ 橋梁構造委員会
 - 委員 河野 通之 日本交通技術(株)
 - 前田 幸雄 大阪大学
 - 山崎 徳也 九州大学
 - 渡辺 昇 北海道大学
 - 委員兼幹事 伊藤 学 東京大学
- ⑦ 耐震工学委員会
 - 副委員長 久保慶三郎 東京大学
 - 常任委員 桜井 彰雄 電力中央研究所
 - 土岐 憲三 京都大学
- ⑧ 岩盤力学委員会
 - 委員 菊地 宏吉 電力中央研究所
- ⑨ 衛生工学委員会
 - 委員 高間 勉 岐阜西工業高校
- ⑩ 海洋開発委員会
 - 委員 菅野 辰男 東京都
 - 加藤 重一 農林省
 - 松石 秀之 (株)大林組

- 松本 繁樹 電力中央研究所
- 石山 和雄 (株)藤田組
- ⑪ 企画小委員会
 - 委員 安芸 恒夫 (株)大林組
 - 天野 光三 京都大学
 - 井上 孝 建設省
 - 遠藤 浩三 東京都
 - 大塚 友則 経済企画庁
 - 川島 賢一 東京電力(株)
 - 北川 義男 鹿島建設(株)
 - 鈴木 忠義 東京工業大学
 - 高橋 裕 東京大学
 - 竹内 良夫 運輸省
 - 富井 義郎 国鉄
 - 渡部与四郎 建設省
 - 委員兼幹事 菅原 操 国鉄
 - 幹事 門尾 毅 富士製鉄(株)
 - 工藤 尚男 国鉄
 - 萩原 浩 建設省
- ⑫ 土構造物の設計標準に関する研究委員会
 - 幹事 赤井 公昭 日本道路公団
- ⑬ 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会
 - 委員 井上 頼輝 京都大学
- ⑭ 学術講演連絡委員会
 - 委員 土屋 昭彦 建設省
 - 桜井 彰雄 電力中央研究所
 - 岸 力 北海道大学
 - 佐武 正雄 東北大学
 - 山内 利彦 名古屋大学
 - 彦坂 照 九州大学
 - 榎木 亨 大阪大学
- ⑮ 原子力土木技術委員会
 - 委員 渡辺 嘉男 東北電力(株)
 - 神谷 美郎 東京電力(株)
- ⑯ 岩盤力学委員会
 - 委員 黒田 晃 建設省
 - 井上 孝 建設省
 - 吉村 恒 国鉄
- ⑰ 耐震工学委員会
 - 委員 毛戸 秀幸 日本道路公団
- ⑱ 海外活動委員会欧文化年報編集小委員会
 - 委員長 川村 光雄 建設省
 - 委員 森平 倫生 運輸省
 - 金津 昭治 農林省
 - 飯島 滋 通産省
 - 藤岡 義香 国鉄
 - 村井 俊治 東京大学
 - 利岡 学 アジア航測(株)
 - 本山 陸史 大成建設(株)

◎各種委員会

(1) トンネル工学委員会運営小委員会 (44.10.16) 出席者：住友委員長、坂本副委員長、ほか11名。議事：1) 委員の交代について。2) 委員会経理報告。3) OECD トンネル会議質問書の承認について。4) 第5回トンネル工学に関するシンポジウム司会者の決定。5) その他。

(2) 岩盤力学委員会第1回研究会 (44.10.17) 出席者：関係者18名。議事講演「海中岩盤地質調査について(東京湾・本州四国連絡橋の場合)」建設省 芥川、日本海上工事 新谷、建設省 小島の各氏。

(3) 海外活動委員会幹事打合せ (44.10.17) 出席者：関係者4名。議事：1) Civil Eng. in Japan, 1970 年の内容・

編集方針について。2) その他。

(4) 岩盤力学委員会主査幹事会(44.10.17) 出席者: 関係者8名。議事: 1) 経過報告。2) 第6回岩盤力学に関するシンポジウム開催について。3) 岩の力学研究連合委員会報告。4) 土木技術者のための岩盤力学(出版物)の改訂について。

(5) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会材料分科会(44.10.17) 出席者: 樋口主査, ほか8名。議事: プレストレストコンクリート設計施工指針施工編の逐条審議を行なった。

(6) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会(44.10.18) 出席者: 岩井委員長, ほか11名。議事: 1) 各分科会主査報告。2) その他。

(7) 海外活動委員会幹事会(44.10.20) 出席者: 太田尾委員長, ほか6名。議事: 1) 海外活動のあり方とその問題点について。2) 欧文年報について。3) 契約・示方書について。

(8) 岩盤力学委員会第1分科会 グラウト打合せ(44.10.20) 出席者: 堀主査, ほか4名。議事: グラウティングに関する設計・施工上の基準の作成につき打合せた。

(9) 耐震工学委員会打合せ(44.10.20) 出席者: 関係者8名。議事: 構造物の地震応答解析法の指針の作成につき打合せた。

(10) 論文集編集委員会部会長会(44.10.20) 出席者: 林委員長, 田島幹事長, 中瀬部会長, ほか4名。議事: 1) 各部会報告。2) 論文報告集第173号~175号掲載原稿について。3) 査読者名簿について。4) 部会割について。5) UDCおよびKey Wordsについて。6) 論文報告集投稿要項について。7) 査読報告書のまとめについて。8) 投稿の手引き作成小委員会について。9) 会誌委員会との意見の交換について。

(11) プレキャストコンクリート杭に関する研究小委員会(44.10.22) 出席者: 国分委員長, ほか15名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 蒸気養生したコンクリートのクリープ試験。3) 遠心力締固め後, 蒸気養生を行なったコンクリートのクリープおよび乾燥収縮。4) PCぐいのひずみの経時変化。

(12) 衛生工学委員会国際水質汚濁研究会議小委員会(44.10.22) 出席者: 関係者7名。議事: 国際水質汚濁研究会議に関する件。

(13) トンネル工学委員会トンネル会議実行委員会(44.10.22) 出席者: 住友委員長, ほか8名。議事: 第6回トンネ

ル工学に関するシンポジウム総予算について審議検討。

(14) 橋梁構造委員会第11回耐風設計研究小委員会(44.10.27) 出席者: 平井委員長, ほか10名。議事: 1) 構造物の耐風性に関する第1回シンポジウム開催について。2) 第16回風に関するシンポジウム開催について。3) 文献紹介。4) 講演「吊橋の自励振動に関する一考察」中央大学 岡内 功委員。

(15) 海外活動委員会幹事会(44.10.28) 出席者: 太田尾委員長, ほか5名。議事: 1) 欧文年報1970年版について。2) 欧文年報編集小委員会設置について。3) その他。

(16) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会設計分科会(44.10.28) 出席者: 猪股主査, ほか6名。議事: プレストレストコンクリート設計施工指針の改訂につき逐条審議を行なった。

(17) 土構造物の設計標準に関する研究委員会第6回幹事会(44.10.29) 出席者: 関係者14名。議事: 1) 基礎構造物の設計標準の第1章基礎一般の原案について。2) 第1章基礎一般の総括討議。

(18) 海岸工学委員会第2回幹事会(44.10.29) 出席者: 岩崎委員長, 堀川幹事長, ほか9名。議事: 1) 第16回海岸工学講演会開催について。2) 講演集の名称変更の件。3) Coastal Engineering in Japanについて。4) 委員会の活動方針について。

(19) 会誌編集委員会書評小委員会(44.10.29) 出席者: 石原委員長, ほか4名。議事: 1) 経過報告。2) 受付図書査読, 審査。3) ブックガイド欄について。4) その他。

(20) 岩盤力学委員会第3分科会(第10回)(44.10.30) 出席者: 林主査, ほか5名。議事: 1) 主査幹事会経過報告。2) 第6回岩盤力学に関するシンポジウムについて。3) メキシコおよびヨーロッパの国際会議の論文について。4) 岩盤力学に関する文献のとりまとめについて。5) 岩盤の現地試験データの報告。6) 「岩盤の現地試験について」の座談会開催について。

(21) 大学土木教育委員会第10回幹事会(44.10.30) 出席者: 奥村委員長, 山口幹事長, ほか5名。議事: 1) 座談会「大学学部のカリキュラム—社会人から見た大学土木教育に対する提案—」について。2) 大学学部および大学院のカリキュラムについて。

(22) 大学土木教育委員会座談会(44.

10.30) 出席者: 関係者16名。議事: 大学学部のカリキュラム(社会人から見た大学土木教育に対する提案)について; (1) 社会における現在ならびに将来における再教育, (2) 大学カリキュラムへの要望, (3) 現在, 必要と考えている技術または手法。

(23) 会誌・論文集委員会打合せ(44.10.30) 出席者: 会誌委員会; 森委員長, 論文集委員会; 林委員長, 田島幹事長, ほか5名。議事: 1) 会誌・論文報告集それぞれの投稿内容について話し合い, 今後の調整につき打合せた。2) 投稿の手引き作成小委員会について。3) その他。

(24) 会誌編集委員会(44.10.31) 出席者: 森委員長, ほか15名。議事: 1) 経過報告。2) 原稿審査。3) 会誌55巻3号編集協議。4) 懸賞論文審査準備。5) 依頼原稿協議。6) その他。

(25) 耐震工学委員会打合せ(44.10.31) 出席者: 関係者4名。議事: 土・構造物の相互作用に関する打合せを行なった。

(26) 空港舗装研究委員会アスファルト舗装部会幹事会(44.10.31) 出席者: 関係者6名。議事: アスファルト舗装部会の運営につき打合せた。

(27) 海外活動委員会欧文年報打合せ(44.11.4) 出席者: 関係者3名。議事: 欧文年報1970年版の目次案について検討。

(28) 第6回PC工法小委員会フレッシュネー工法(44.11.5) 出席者: 国分委員長, 河野主査, ほか23名。議事: フレッシュネー工法設計施工指針(第2次案)の逐条審議を行なった。

(29) 空港舗装研究委員会コンクリート舗装部会主査幹事会(44.11.5) 出席者: 国分部会長, 伊東主査, ほか9名。議事: 空港舗装委員会の準備を行なった。

(30) 文献調査委員会(44.11.6) 出席者: 新谷委員長, ほか9名。議事: 1) 会誌55巻1号登載抄録について。2) 解説記事について。3) その他。

(31) 論文集編集委員会第4部会(材料)(44.11.6) 出席者: 関係者5名。議事: 1) 査読報告。2) 部会長会報告。3) 論文報告集の概念について。4) 査読報告書について。5) その他。

(32) 海外活動委員会欧文年報打合せ(44.11.7) 出席者: 関係者4名。議事: 小委員会設置につき打合せた。

(33) 空港舗装研究委員会幹事打合せ(44.11.8) 出席者: 関係者4名。議事: 空港舗装研究委員会の資料準備を行なった。

(34) 視聴覚教育委員会 選定映画審査会 (44.11.8) 出席者：綾幹事長，ほか6名。議事：「鉄道関係」映画4本につき審査を行ないつぎの2点を選定した；「伸びゆく鉄路」「羅進第2部」

(35) アルミナセメント小委員会(44.11.10) 出席者：国分委員長，ほか15名。議事：各試験所の試験結果につき担当委員が説明，質疑応答を行なった。

(36) 第18回原子力土木技術委員会(44.11.10) 出席者：左合委員長，ほか6名。議事：1) 動力炉安全基準専門部会について。2) 第8回原子力総合シンポジウムについて。3) 第7回理工学における同位元素研究発表会について。

(37) トンネル工学委員会 トンネル会議実行委員会 (44.11.10) 出席者：住友委員長，坂本副委員長，ほか12名。議事：1) 第6回トンネル工学に関するシンポジウム総予算及び会場の決定について。2) 第6回トンネル工学に関するシンポジウム外国，国内の講演者について審議検討。

(38) トンネル工学委員会 トンネル会議論文委員会 (44.11.10) 出席者：伊吹山委員長，ほか12名。議事：第6回トンネル工学に関するシンポジウム講演時間の変更および外国，国内講演者について検討。

(39) 耐震工学委員会打合せ(動的解析)(44.11.11) 出席者：関係者7名。議事：構造物の地震応答解析法の指針原案(第2編 応用編)につき検討した。

(40) 耐震工学委員会第6回常任委員会(研究会)(44.11.11) 出席者：岡本委員長，久保副委員長，ほか20名。議事：1) 連絡事項。2) 研究会；①震源地と地震波形の相関性について(岡本委員長)，②非対称復元力特性を考慮した地震応答解析についての私案(後藤・伯野両常任委員)。3) 構造物の地震応答解析法の指針原案について。4) 土と構造物の相互作用に関する研究について。

(41) 終局強度設計小委員会幹事会(44.11.11) 出席者：河野副委員長，ほか6名。議事：諸外国の規定につき審議検討を行なった。

(42) 論文集編集委員会第4部会(計画)(44.11.11) 出席者：鍛冶部会長，ほか3名。議事：1) 査読報告。2) 部会長報告。3) 論文報告集の概念について。4) 査読報告書について。5) その他。

(43) 土構造物の設計標準に関する研究委員会第7回幹事会(44.11.12) 出席者：関係者14名。議事：1) 第6回幹事会議事録の確認。2) 基礎構造物の設計

標準の第1章基礎一般の原案について。3) 第1章基礎一般のまとめ。4) 第2回委員会開催について。

(44) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会幹事会(44.11.12) 出席者：樋口主査，ほか9名。議事：プレストレストコンクリート設計施工指針施工編改訂原案の逐条審議を行なった。

(45) 論文集編集委員会第2部会(44.11.12) 出席者：林委員長，ほか6名。議事：1) 査読報告。2) 部会長報告。3) 論文報告集の概念について。4) 査読報告書について。5) その他。

(46) 会誌編集小委員会(44.11.14) 出席者：森委員長，ほか7名。議事：1) 経過報告。2) 会誌55巻3号編集協議。

(47) 岩盤力学委員会第1分科会地質調査班打合せ(第10回)(44.11.14) 出席者：堀主査，ほか6名。議事：地質調査の解説書の原稿につき審議した。

(48) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会(44.11.14) 出席者：岩井委員長，ほか10名。議事：1) 分科会作業報告。2) 各分科会間の調整事項の検討。3) 今後の作業方針。4) その他。

(49) 岩盤力学委員会運営小委員会(44.11.14) 出席者：岡本委員長，ほか7名。議事：1) 経過報告。2) “土木技術者のための岩盤力学(出版物)”の改訂について。3) 第6回岩盤力学に関するシンポジウム開催について。4) 「岩盤の現地試験法について」の座談会開催について。

(50) 文献調査委員会 図書館運営小委員会(44.11.14) 出席者：園田委員長，ほか2名。議事：1) 図書館報告。2) 収集資料の処分について。3) 海洋開発関係文献について。

(51) 論文集編集委員会第3部会(44.11.14) 出席者：中瀬部会長，ほか3名。議事：1) 査読報告。2) 部会長報告。3) 論文報告集の概念について。4) 査読報告書について。5) その他。

(52) 衛生工学委員会幹事会(44.11.15) 出席者：関係者6名。議事：第6回衛生工学研究討論会採用論文につき審議を行なった。

(53) 欧文年報編集小委員会(44.11.17) 出席者：川村委員長，ほか4名。議事：1) 欧文年報編集小委員会について。2) 小委員長あいさつ。3) 委員会構成について。4) 1970年報の編集について。

◎その他

(1) 模型井筒振動試験見学会(44.10.28)

場所：国鉄佐倉駅客貨区構内
主催：国鉄および耐震工学委員会
参加者：20名

(2) 第5回トンネル工学に関するシンポジウム打合せ(44.10.30) 出席者：関係者3名。議事：第5回トンネル工学に関するシンポジウム第1日目討論会「わが国トンネルボーリングマシンの現状」の打合せ。

(3) 第5回トンネル工学に関するシンポジウム打合せ(44.11.15) 出席者：関係者7名。議事：第5回トンネル工学に関するシンポジウム第2日目討論会「シールド工法による地下駅の設計・施工」の打合せ。

支 部 だ よ り

◎関東支部

(1) 全国大会講演部会(44.7.4, 土木学会)出席者：内藤副部会長，ほか9名。

(2) 第3回幹事会(44.7.23, 土木学会)出席者：小林支部長，ほか12名。

(3) 全国大会懇親部会(44.9.3, 土木学会)出席者：末沢部会長，ほか4名。

(4) 全国大会講演部会(44.9.5, 土木学会)出席者：久保部会長，内藤副部会長，ほか9名。

(5) 全国大会見学会部会(44.9.9, 土木学会)出席者：半谷部会長代理，ほか8名。

(6) 全国大会部長会(44.10.15, 榮林)出席者：小林実行委員長，ほか8名。

(7) 第4回幹事会(44.12.9, 山王飯店)出席者：小林支部長，ほか16名。

(8) 栃木県映画会(44.8.6, 栃木会館)映画：3編，参加者：100名。

(9) 東京外環状線見学会(44.11.28)参加者：52名。

(10) 「土留工法」講習会(44.12.3, 発明会館ホール)講演：4題，参加者：170名。

(11) 定期講演会(44.12.4, 土木図書館講堂)講演：2題，参加者：50名。

(12) 刊行物：「土留工法」
定価1500円，44.12.1発行

(13) 幹事交代
土居則夫→深田彰一 国鉄(44.7)
森本時夫→峰尾 肇 電源開発(44.12)
町田恭二→横田高良 熊谷組(44.11)

◎関西支部

(1) 第2回学生見学会(山之内浄水場, 鳥羽下水処理場見学会)(44.10.25)

見学先: 京都市水道局山之内浄水場, 鳥羽下水処理場

参加者: 44名, 参加費: 100円

(2) 第3回学生見学会(豊野浄水場, 中浜下水処理場見学会)(44.11.8)

見学先: 大阪市水道局豊野浄水場, 大阪市水道本部長中浜下水処理場

参加者: 113名, 参加費 100円

(3) 学生映画会

上映映画: 東名高速道路, プレバクトコンクリート実験, 複線シールド, 喜撰山揚水発電所建設記録第1部

44.11.10 明石工業高専 参加者 72名

44.11.11 近畿大学 参加者 101名

44.11.12 神戸市立工業高専

参加者 130名

44.11.13 関西大学 参加者 179名

44.11.14 大阪産業大学 参加者 120名

44.11.15 大阪府立工業高専

参加者 50名

44.11.17 大阪工科大学(都合により中止)

44.11.18 大阪工業高専 参加者 173名
参加者合計 825名

(4) 講習会「土工事における土中

水のあつかい方」(44.11.25~26, 大阪科学技術センター)

題目と講師

1. 土中の水理

大阪府立工業高専助教授

工修 佐藤 邦明

2. 井戸の水理と揚水試験法

岐阜大学助教授工学部

工修 宇野 尚雄

3. 広域地下水の開発と規制工法

京都大学教授工学部 工博 松尾新一郎

4. トンネル工事における湧水対策

国鉄大阪新幹線工事局次長 高山 昭

5. 地下水位低下工法

京都大学助教授工学部

工修 河野伊一郎

6. 地盤の流動化現象とその防止対策

神戸大学教授工学部 工博 谷本 喜一

7. 路床・路盤の含水状態と支持力特性

名古屋大学助教授工学部

工博 植下 協

8. 雨水の流出と水収支の解析法

京都大学教授防災研究所

工博 石原 安雄

9. 土石流の発生機構について

大阪府立工業高専助教授 大同 淳之

10. 山腹崩壊の機構とその予知

京都大学助教授農学部

農博 武居 有恒

参加者: 338名(会員: 275名, 非会員: 63名), 参加費: 会員 1500円, 非会員: 2000円

(5) 若い会員懇親パーティ(第2回)(44.11.25, 大阪科学技術センター)

参加者: 16名, 参加費: 無料

(6) Dr. Ekefalk 講演会(44.11.25, 日本生命中之島研修所)

共催: 日本鉱業会関西支部・土質工学関西支部・土木学会関西支部

題目と講師:

最近のスウェーデンのロックトンネル工法

Atlas Copco(株) 副社長

Dr. Sture Ekefalk 参加者: 28名。

(7) 常任幹事会(第4回)(44.11.21, 好文倶楽部), 出席者: 岡田幹事長, ほか 11名。

(8) 昭和45年度全国大実行委員会総務部会会場小委員会(44.11.14)(会場下見), 出席者: 関係者 4名。

(9) 昭和45年度全国大会実行委員会(44.11.21, 好文倶楽部) 出席者: 野瀬委員長, ほか 43名。

(10) 第41回騒音振動委員会(44.10.27, 好文倶楽部) 出席者: 畑中 幹事長, ほか 13名。

(11) 騒音振動委員会幹事会(第37回)(44.10.27, 好文倶楽部) 出席者: 畑中 幹事長, ほか 4名。

(12) 騒音振動委員会委員交替

(新) 峯本 守 国鉄大阪新幹線工事局調査課長

(旧) 吉村 恒 国鉄建設局線増課長へ転出による。

編集後記

明けましておめでとうございます。1969年があわただしい年末選挙とともに暮れ、いよいよ70年代の幕明けとなりましたが、今年もまた万博、安保と話題の多い年になりそうです。

この新年に当り積算特集号をお送り致します。わが国の土木界も、経済の高度成長とともに活況を続け、幾多の特記すべきプロジェクトを完成し、技術的にも非常に発展を遂げて来ました。

しかし一方その体質を見る時、近代的なうわべの下に、前近代的なよろいがちらついているような感じがするの否めません。

封建制度から近代的制度への移行は、身分制度から契約制度への変化となって現われるといわれます。

しかしわが土木界ではいろいろの特殊な条件のため、他の分野にくらべこの契約制度の精神が完全に体得され

ているとはいい難い実状です。契約の基礎となる積算についても、それぞれの立場、立場で違った方式で行なわれ、体系されたものとなりにくい状況でした。今後土木学会は、わが土木界の脱皮のために、このような問題も真険にとり上げるべき時が来ていると思ってこの特集を試みた次第です。

前例のないテーマで、執筆者の方々にはいろいろご苦勞をおかけしたと思いますが、これが池に投じた一石となって学会員の中でも、このような問題が深く研究され土木界近代化の方向に進む一助となれば幸いです。

今後とも土木技術の範囲を広く解釈し、この種の特集も時々やってみたいと考えております。

今年も会員の皆様のご愛読とご叱声それにご投稿を賜わるよう編集委員、事務局一同お願い申し上げます。

【横山義雄・記】